

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2021年 3月 31日

事業所名：すこやかキッズスタジオ垂水

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	訓練別、人数に応じたスペースを適切に確保し、安全を第一にした空間作りをおこなっている。	多数の回答で”はい”という評価を頂いている。	引き続き必要な物を適切に配置、安全なスペース確保に努める。
	2 職員の適切な配置	子ども10名に対し過半数以上の職員を配置している。	”はい”という意見と”わからない”という意見が半々の回答でした。	概ね満足頂いているが緊急の時などでも適切な人員の配置をおこなっていけるよう、継続して改善を進めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的別にフロアを区切り、利用者に視覚でわかりやすい区切りにしている。施設内は段差をほとんどなくした環境を整えている。	”はい”という意見が多かったが、”わからない””どちらともいえない”という意見もありました。階段での移動があるので心配。という意見もありました。	利用者に視覚的に分かりやすい環境を整える、指示が伝わりやすい環境作りをおこなう、またできる限りのバリアフリー化に努めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃や、玩具や教材等のアルコール消毒を定期的におこない、清潔を保てるようにしている。療育に集中できるようシンプルな環境を整え、棚や机の角にクッションを付けるなど安全には十分配慮をおこなっている。	概ね、”はい”との回答を頂いているが、”どちらともいえない”という意見もありました。十分でしたという意見もありました。	引き続き清掃、消毒を徹底して、清潔、安心して過ごせる環境を保てるようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝のミーティングや申し送り、カルテなどの確認をおこない、共通意識、目的をもって利用者への支援をおこなっている。		引き続き、職員全員で取り組んでまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では実施していない。		第三者による外部評価は実施していないが、利用者や保護者の方が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の虐待防止、安全運転チェックリストでの自己確認、研修会議などを定期的実施している。		引き続き十分な時間を取り定期的な会議、研修をおこなっていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者へのモニタリングでの聞き取りをおこない、それを基に職員間での話し合い、ニーズや課題を分析、計画書の作成をおこなっている。		保護者へのモニタリングや送迎時、面談での聞き取りをおこない、ニーズに沿った計画を心掛けて作成をおこなう。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団での取り組みや個別の課題を計画書に盛り込み、子どもの発達段階に応じた計画を、職員間での話し合いの上、作成している。	概ね”はい”との回答を頂いているが、”わからない”という回答も頂いている。定期的な面談はさせていただいているが、子供の成長に合わせて計画の見直しが必要な場合にも、面談の機会があればと考えています。という	個々の成長と集団での取り組みに合う活動を、子どもの発達段階や苦手な分野の克服に繋がるよう計画書を作成していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員への聞き取りや会議をもとに作成したアセスメントに基づいて、子ども一人ひとりに応じた目標、支援項目を設定している。	意見もありました。	保護者に分かりやすい具体的な支援内容の設定を継続して実施していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画に沿った適切な支援の実施	子どもの発達状況に応じて職員が計画内容の伝達、周知をおこない情報共有して、個々の支援を実施している。	全員から”はい”という回答を頂いています。計画を確認し合って進めて頂いていると思います。という意見もありました。	変化する児童の発達状況を把握し、職員が子どもの目標に合った支援ができるよう日々改善に努める。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	報告や周知ができるような時間を作り、職員全体で療育内容の把握や、プログラムの提案をおこなっている。	多数で”はい”という回答を頂いているが、”どちらともいえない””わからない”という回答もありました。	引き続き各職員が提案ができる時間や環境を作り、職員全体でより良いプログラムを提供できる様努めていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園と併用の児童の長期休みの時などは利用希望をとるなど出来るだけ利用して頂ける様に配慮している。		今後も出来る限り保護者、児童のニーズに沿った対応を心掛ける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別プログラムで流動的なプログラムの実施をおこなっている。		プログラムが固定化しないよう、日々の利用者の状況や環境を把握して実施していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼での口頭での伝達、また出社時に職員に目を通してもらう利用者への連絡事項や変更事項などの確認を徹底している。		引き続き朝礼や職員への伝達などで、支援内容や役割分担の確認をおこなっていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	些細な事柄でも報告をおこなうよう義務付け、気が付いた点などを記録する書類など、職員間で情報を共有している。		引き続き気づいた事の記録や、こまめな報告の徹底をおこない、情報の共有化をおこなっていく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の子どもの健康状態の把握や、食事の摂取量、活動状況などの記録をおこなうと共に、職員間の話し合いの時間を設け、検証して改善策を考え継続して実施をおこなっている。		利用者の日々の健康状態や活動に職員全員が気を配り些細な変化も記録、検証していけるよう努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に計画、モニタリングの見直しを実施している。	定期的に十分な時間をとり利用者一人ひとりに適確なサービスの見直しを実施していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	出来る限り予定を調整し積極的に参加している。	参加を継続していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者や関連施設の希望、意向を調査し必要であれば実施をおこなっている。	保護者と連携しながら、十分に情報共有ができる体制作りをおこなっていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし	該当なし
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	参加できる機会を増やしていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない。	”いいえ”との回答が多く”はい””わからない”という意見もありました。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。	保護者用の評価表に該当する項目無し	機会があれば検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用前の契約時に、説明をおこなっている。	多数の評価で、“はい”との回答を頂いています。送迎時などにも丁寧にしていただいていますという意見もありました。	継続して丁寧、わかりやすい説明をおこなっていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を提示しながらの説明、支援内容をお伝えしている。	多数の評価で“はい”との回答を頂いています。“どちらともいえない”“いいえ”という意見も少数ありました。	より詳しい支援内容の説明ができる様、検討、改善をおこなっていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時や電話での対応をその都度おこなっている。	“はい”“いいえ”“わからない”という回答が同じくらいの評価でした。	保護者が相談しやすい環境や時間を作っていけるよう、検討、改善をおこなっていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎日の送迎時に報告、意見交換と電話での相談での共通理解に努めている。	はい という評価を多数頂いているが、わからないという意見もありました。状況は伝えて頂いているが、課題についての共通理解の場が少ないのかもしれない。という意見もありました。	送迎時の保護者へのこまめな報告をおこない、共通理解を徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	希望があれば随時相談を受け付け保護者やご家族の支援を実施している。	“はい”という回答を多く頂いたが、“いいえ”“どちらともいえない”“わからない”という回答もありました。	保護者が相談しやすい環境、時間を作っていけるよう検討、改善をおこなっていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	“いいえ”と“わからない”との回答が半分ずつでした。“どちらともいえない”という回答もありました。	現在父母会等の実施予定は無い。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応、報告体制を整えており苦情があった際はそれに沿った調査、報告、保護者への説明を行っている。	はいとわからないこの意見が多かったです。“どちらともいえない”という意見がありました。忘れ物があった時は迅速に対応していただいた。という意見がありました。	迅速に明確な対応が出来る様、引き続き体制を整える。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童や保護者の特徴を捉え状態にそった分かりやすい連絡帳での伝達と送迎時での報告に努めている。	“はい”という評価を多数から頂いている。子どもとの伝達はまだ難しい面があるが、子供はいつも楽しんでいるという意見がありました。	児童、保護者の状態を把握し、より分かりやすい情報の伝達に努める。



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	実施していない。	”わからない”という意見を多く頂いており、”いいえ””どちらでもない”という回答もありました。	今後もできる限りの情報発信に努めると共に、改善できる点は検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の扱いについての同意書を保護者に頂いた上で、個人書類の保管等や守秘義務の徹底に留意している。	多数の意見で”はい”という回答を頂いているが”わからない”という回答も少数ありました。	引き続き、研修などで周知し再確認をおこなっていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定を行い職員への周知はおこなっているが、保護者への通達は一部しかおこなっていない。	”はい”との回答を多く頂いているが”わからない””いいえ””わからない”という回答も少数ありました。	一部しかおこなえていなかった保護者への通達を書類などを作成し、周知徹底できる様、改善を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に二回、定期的に火災、地震と災害に応じた訓練を実施している。	”はい””わからない”が半々の割合で回答を頂いている。”どちらでもない”という回答も少数ありました。	継続して避難訓練を定期的におこない保護者への報告、伝達もおこなっていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止をはじめとする研修をおこない一カ月に一度、定期的な研修もおこない調査、課題の提示、改善、職員への周知をおこなっている。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者にも計画書に記載し十分な説明をおこなっている。		引き続き保護者へ十分な説明と理解を頂いていく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りを行い医者からの資料や意見書を基に注意事項や環境の徹底をおこなっている。		引き続き十分に留意し保護者からの聞き取りをおこない、ミスが出ないよう確実にアセスメント反映、し職員間でも周知徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日、職員同士や資料を見て事例を周知する時間を設け、共有している。		引き続き朝礼などで支援内容の役割分担を確認の徹底をおこなっていく。